

伊丹市交通事業経営戦略《前期5ヵ年行動計画(第3次アクションプラン)》

平成28年度個別行動計画項目別進捗状況

1 経営健全化の推進

重点施策(1) 定員管理の推進と給与の適正化

✓ 取組状況のレベル

☆☆☆・・・具体的な取組を実施した

☆☆・・・具体的な検討・協議を行った

☆・・・調査・研究中等

【成果指標】 営業収益に対する人件費の割合 (平成26年度値)83.3% (目標値) 90.0% (平成28年度値)89.1%

【個別行動計画】

No.	項目	達成への取組	平成28年度の取組状況	
1-1-1	適正な乗務員数の確保	正規乗務員不補充の継続	正規乗務員の補充はしていない。 (年度末正規乗務員数平成27年度139名⇒平成28年度135名)	☆☆☆
		嘱託乗務員採用	嘱託乗務員8名採用するものの、年度途中の退職に伴い、実質的には減少した。 (年度末嘱託乗務員数平成27年度52名⇒平成28年度48名)	☆☆☆
1-1-2	事務管理部門の効率的な組織体制の整備	事務管理部門の組織再編	権限と責任を明確化するため各課に係制を導入した。 (効率化により事務職員1名減員)	☆☆☆
		バス停施設維持管理業務への職員新規配置の休止	バス車両尿素補充作業等、業務量増加により計画外の作業員1名を新規配置した。 (3名⇒4名)	☆
1-1-3	技能労務職員の給与の適正化	技能労務職給料表の切替	乗務員・作業員に新たな「技能労務職給料表」を適用した。	☆☆☆
1-1-4	能力主義の導入	人事評価制度による給与査定への検討	事務職員は、市長部局で実施の人事評価制度を実施した。乗務員については、独自の評価項目を盛り込み試行的に実施した。給与査定については、今後の検討とした。	☆☆☆
1-1-5	労働条件の整理	特別休暇運用方法についての労使協議	研究中	☆
		変形労働時間制の検討	研究中	☆
1-1-6	嘱託乗務員の確保	報酬月額の見直し	平成28年4月1日より月額1,000円の報酬アップを実施した。	☆☆☆

重点施策(2) 乗車料収入の増

【成果指標】 乗車料収入(税抜・特別乗車証分を除く) (平成26年度値)1,437百万円 (目標値) 1,470百万円 (平成28年度値)1,436百万円

乗車人員(特別乗車証分を除く) (平成26年度値)9,001千人 (目標値) 9,085千人 (平成28年度値)9,031千人

【個別行動計画】

No.	項目	達成への取組	平成28年度の取組状況
1-2-1	運行系統と効率的ダイヤの検証	全面ダイヤ改正の実施	平成27年9月からの全面改正ダイヤの微調整のため、平成28年12月に一部ダイヤ改正を実施した。 ☆☆☆
		運行系統の再編	一部ダイヤ改正時に、60系統塚口池尻三師団線の新設、7系統JR伊丹小井内鴻池東線の延長を実施した。 ☆☆☆
		空港線の見直し	伊丹空港ライナーの運行にあわせて見直し予定。 ☆☆
1-2-2	利用実態の把握	ドライブレコーダー映像による乗降者数調査の実施	平日ダイヤと土休日ダイヤの各1日で調査を実施した。 ☆☆☆
1-2-3	雨天時の対応	雨天時の特別ダイヤの導入	試験的運行を継続中。 ☆☆☆
1-2-4	モビリティ・マネジメントの推進	出前講座の実施	小学校11校・高等学校1校で実施した。 ☆☆☆
		市内一斉清掃への参加	市内一斉清掃(7月)に局内有志が参加した。 猪名川クリーン作戦(2月)に局内有志が参加した。 ☆☆☆
1-2-5	新たな運賃制度の検討	新乗継割引制度の検討	研究中 ☆
		昼間割引制度の検討	研究中 ☆
		企画乗車券の発売	研究中 ☆
		IC定期券の検討	研究中 ☆
		全国相互利用ICカードの検討	平成32年度の実施に向け、機器更新等のスケジュールを作成した。 ☆☆
1-2-6	運賃改定の実施	消費税率引き上げに伴う運賃改定の実施	研究中 ☆

重点施策(3) 広告料収入の増

【成果指標】 広告料収入 (平成26年度値)22,330千円 (目標値) 23,400千円 (平成28年度値)23,168千円

【個別行動計画】

No.	項目	達成への取組	平成28年度の実施状況	
1-3-1	新たな広告媒体の検討	ICカード広告枠検討	現行ICカードは、広告媒体としての活用は難しいと判断した。	☆☆
		広告ジャック車両の売り込み	次年度実施に向けての企画を行った。	☆☆
1-3-2	ラッピングバスの増車	市内事業者への広告PRチラシの配布	ラッピング車両1両の増車となった。	☆☆☆
1-3-3	停留所ネーミングライト導入施設の拡大	市内事業者への広告PRチラシの配布		☆☆
1-3-4	新規スポンサーの開拓	市内事業者への広告PRチラシの配布		☆☆

重点施策(4) 庁舎・車庫等の維持管理

【成果指標】 庁舎改修工事の進捗率(完了を100%とする) (目標値) 100% (平成28年度値) ー

【個別行動計画】

No.	項目	達成への取組	平成28年度の実施状況	
1-4-1	庁舎の老朽化対策	庁舎耐震化改修工事	本市担当課へ耐震補強他工事の概算見積・実施設計業務依頼を行った。	☆☆
1-4-2	有蓋車庫の老朽化対策	有蓋車庫の代替案検討	費用面等から現時点では、部分的な補修等での対応を行うものとした。	☆
1-4-3	遊休資産の活用	遊休資産(土地)の活用	敷地北側の遊休地は民間駐車場用地として継続して活用中であり、今後は旧待機公舎の解体工事後の跡地活用を検討する。	☆☆☆

重点施策(5) 車両更新計画の(再)見直し

【成果指標】 年度末車両保有台数 (平成26年度値)94台 (目標値)90台 (平成28年度値)93台

年度末在籍車両平均車齢 (平成26年度値)8.56年 (目標値)8.68年 (平成28年度値)8.37年

【個別行動計画】

No.	項目	達成への取組	平成28年度の実績	平成28年度の評価
1-5-1	乗合車両使用年数の延長	整備内容、計画の検討	試験車両を導入し、使用年数延長の検証を始めた。	☆☆☆
		他社局取り組みの事例の研究	使用年数(18年)の延長の可能性について研究を進めた。	☆☆☆
1-5-2	(再掲) 運行系統と効率的ダイヤの検証	全面ダイヤ改正の実施	平成27年9月からの全面改正ダイヤの微調整のため、平成28年12月に一部ダイヤ改正を実施した。	☆☆☆
		乗合車両の減車	1両減車を実施した。	☆☆☆

重点施策(6) 貸切事業の廃止

【成果指標】 ————— (目標値) — (平成28年度値) —

【個別行動計画】

No.	項目	達成への取組	平成28年度の実績	平成28年度の評価
1-6-1	貸切事業の廃止	関係条例等の改廃	平成28年3月に条例を廃止し、事業を終了した。	
1-6-2	大型貸切車両の売却	大型貸切車両売却	大型貸切車両を売却した。	☆☆☆

重点施策(7) 一般会計と負担区分の明確化

【成果指標】 総収益に占める基準外繰入金(*)の割合 (平成26年度値)5.5% (目標値)6.3% (平成28年度値)6.1%

【個別行動計画】

No.	項目	達成への取組	平成28年度の実施状況
1-7-1	独立採算を基本として経営	関係部局との積極的な協力	引き続き協議する。 ☆☆
1-7-2	適正な補助金のあり方の検討	営業係数125以上の不採算路線補助金の見直し	現行補助制度の見直しに向けて、関係部局に各種資料の提供を行うなど積極的に協議を行った。 ☆☆
1-7-3	特別乗車証負担金のあり方の検討	特別乗車証負担金のあり方の検討	「交通事業の経営」と「特別乗車証制度の維持」の両側面から検討を行った。 ☆☆

(*) 基準外繰入金・・・地方考公営企業繰出基準に基づかない補助金等

2 安全対策・サービス向上の推進

重点施策(1) 運輸安全マネジメントの徹底

【成果指標】 有責事故件数（平成26年度値）39件（目標値）30件（平成28年度値）18件

【個別行動計画】

No.	項目	達成への取組	平成28年度の取組状況
2-1-1	乗務員研修	安全教育プログラムの充実	毎年度研修計画を策定した。 外部講師による接遇研修、運転適性診断の受診等を実施した。 ☆☆☆
		ドライブレコーダーの活用	事故映像を活用した研修、SDカードを活用した事故惹起者等の追跡指導を実施した。 ☆☆☆
2-1-2	安全管理体制の構築	乗務員班長制度の検討	研究中 ☆
		トップと職員の意見交換会の開催	「管理者への意見箱」の充実を図った。意見交換会は未実施。 ☆☆
		アルコールチェック	アルコール検知器の使用と目視等での酒気帯び運転の有無の確認を徹底した。 ☆☆☆
		SAS(睡眠時無呼吸症候群)チェックの検討	SASの簡易検査(スクリーニング)導入に向けて労使協議を実施した。 ☆☆
2-1-3	事故防止対策	ヒヤリ・ハット「事故の芽」報告制度	ヒヤリ・ハット事例を収集、事例ごとに取りまとめ一覧表を作成した。 ☆☆☆
		事故防止マニュアル作成	整備に向けて研究を進める予定。 ☆
2-1-4	危機管理等の体制整備	BCP(事業継続計画)の整備	具体的施策として、大規模災害時対応マニュアルの策定を目指すことにした。 ☆☆
2-1-5	人材育成への取り組み	運転技術指導員の配置検討	指導員1名を配置し、事故・苦情惹起者等の添乗による指導を徹底した。 ☆☆☆
		再任用職員による技術継承	研究中 ☆

重点施策(2) 運賃制度の研究

【成果指標】 新制度等の企画・販売 (目標値) 3種類発行・販売 (平成28年度値) —

【個別行動計画】

No.	項目	達成への取組	平成28年度の取組状況	
2-2-1	(再掲) 新たな運賃制度の検討	新乗継割引制度の検討	研究中	☆
		昼間割引制度の検討	研究中	☆
		企画乗車券の発売	研究中	☆
		IC定期券の検討	研究中	☆
		全国相互利用ICカードの検討	平成32年度の実施に向け、機器更新等のスケジュールを作成した。	☆☆

重点施策(3) 停留所施設等の整備

【成果指標】 前期5ヵ年停留所施設改善箇所数 (目標値) 30箇所 (平成28年度値) 4箇所

【個別行動計画】

No.	項目	達成への取組	平成28年度の取組状況	
2-3-1	バス待ち環境の改善	上屋新設可能停留所の調査、整備	全バス停の現況についてデータベースでの台帳を作成中。	☆☆
		収納式ベンチの設置	全バス停の現況についてデータベースでの台帳を作成中。	☆☆
		既存施設の更新	全バス停の現況についてデータベースでの台帳を作成中。	☆☆
2-3-2	サイクル&バスライドの環境整備	既存駐輪場の保全	作業員による保全作業を継続中。	☆☆☆
		用地確保にむけた本市への働きかけ	本市交通政策課との協議を継続中。	☆☆

重点施策(4) 定時性の確保とバス情報

【成果指標】 全路線合計の定時性確保率 (平成26年度値)100% (目標値) 100% (平成28年度値)100%

【個別行動計画】

No.	項目	達成への取組	平成28年度の実施状況	
2-4-1	定時性確保の取り組み	関係機関との調整協議	市道(尼崎市、宝塚市、伊丹市、川西市)、兵庫県土木事務所、兵庫国道事務所へ次年度の工事予定等を確認した。	☆☆☆
		PTPS車載機器を全車両へ設置	全車に取付完了。	☆☆☆
2-4-2	バスロケーションシステム導入の検討	バスロケーションシステムの検討	市長部局と協議を継続中。	☆☆

重点施策(5) 職員意識改革

【成果指標】 乗務員の接客等に関する意見・要望件数 (平成26年度値)216件 (目標値) 100件 (平成28年度値) 167件

【個別行動計画】

No.	項目	達成への取組	平成28年度の実施状況	
2-5-1	サービス精神の醸成	サービス介助士の拡充	9名が新たに資格取得した。	☆☆☆
		接客、添乗研修の実施	接客研修に外部講師を招聘し、79名が受講した。	☆☆☆
		他社局との研修交流	研究中	☆
		異業種間での研修	民間短期派遣研修受入先と協議を開始した。	☆☆
2-5-2	モチベーションの向上	表彰制度の充実	現行の無事故表彰制度の充実(基準の見直し、嘱託乗務員への拡充)を図り、他社局導入済の表彰制度の調査・研究を実施した。	☆☆☆
		報奨制度の検討	現行の不正乗車発見報償制度のほか、他社局で導入済の報償制度の調査・研究を実施した。	☆☆
2-5-3	(再掲) 人材育成への取り組み	運転技術指導員の配置検討	指導員1名を配置し、事故・苦情惹起者等の添乗による指導を徹底した。	☆☆☆
		再任用職員による技術継承	研究中	☆

重点施策(6) グリーン経営の推進

【成果指標】 軽油1ℓ当たり乗合車両走行キロ (平成26年度値) 2.182km/ℓ (目標値) 2.204km/ℓ (平成28年度値) 2.134km/ℓ

【個別行動計画】

No.	項目	達成への取組	平成28年度の実績	評価
2-6-1	エコドライブ・エコオフィス	グリーン経営認証の継続	10月に認証継続審査を受け適合とされた。	☆☆☆
		エコドライブ研修の実施	運行管理者による伝達研修や掲示による啓発を行った。	☆☆☆

重点施策(7) 情報公開と広報活動

【成果指標】 交通局ホームページアクセスログ数 (平成26年度値) 667,327件 (目標値) 734,000件 (平成28年度値) 723,767件

【個別行動計画】

No.	項目	達成への取組	平成28年度の実績	評価
2-7-1	広報活動の推進	ホームページの充実	イタッピーや広告ページへの誘導ボタンを新設する等改良を実施した。	☆☆☆
		バス車両を活用した広報	研究中	☆
2-7-2	経営戦略の進捗管理と情報公開	個別取組項目の進捗管理	中間整理表を作成し管理に努めた。	☆☆☆
		財務状況の公表	予算については4月・決算については10月にホームページにて公表を行った。	☆☆☆
2-7-3	イベント等への積極的参加	イベント内容の再検討	イベントの内容及び要する人員の見直し等を行った。	☆☆☆
		市バスグッズ等の発売	「スルッとKANSAIバスまつり」や市内イベント等で販売した。	☆☆☆